2026 年 11 月 13 日
株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
（コード番号　8306）

通期業績目標の修正および期末配当予想の修正について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 半沢 淳一（はんざわ じゅんいち））は、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2026 年 5 月 15 日に開示した 2027 年 3 月期（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）の「親会社株主に帰属する当期純利益」目標および 1 株当たり期末配当予想を修正しましたのでお知らせいたします。

1. 通期業績目標の修正

(1) 2027 年 3 月期（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）

	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表目標（A）	27,000 億円
今回修正目標（B）	28,000 億円
増減額（B－A）	+1,000 億円
増減率	+3.7%
前期実績（2026 年 3 月期）	24,272 億円

(2) 修正の理由

顧客ビジネスの堅調な業績の進捗や持分法適用関連会社である Morgan Stanley に関わる持分法投資損益の増加等により、経常利益で期初想定比 1,000 億円の増加となる見込みです。

結果として、親会社株主に帰属する当期純利益の業績目標を 1,000 億円上方修正し、28,000 億円とするものです。

2. 期末配当予想の修正

(1) 修正の内容

	1 株当たり配当金		
基準日	第 2 四半期末	期末	合計
前回予想		48 円 00 銭	96 円 00 銭
今回修正予想		52 円 00 銭	100 円 00 銭
当期実績	48 円 00 銭		
前期実績（2026 年 3 月期）	35 円 00 銭	51 円 00 銭	86 円 00 銭

(2) 修正の理由

当社は、資本の健全性と成長のための投資との最適バランスを考慮し、配当を基本とする株主還元の充実に努める方針です。配当につきましては、利益成長を通じた1株当たり配当金の安定的かつ持続的な増加を基本方針としています。2025年3月期からの3年間を計画期間とする中期経営計画におきましては、配当性向を40%程度とし、規律ある資本運営を継続してまいります。

この方針に基づき、今回の通期業績目標の修正を踏まえて、2027年3月期の期末配当予想を直近の1株あたり48円00銭から52円00銭に修正いたします。これにより、中間配当と合わせた2027年3月期の年間配当金予想は、1株あたり100円00銭となります。

以　上

本資料には、当社または当社グループの業績、財政状態に関する予想、見通しなどの将来に関する記述が含まれています。かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記述されています。また、将来の予想、見通しなどを作成するためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし前提（仮定）は、その性質上、将来そのとおりに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離したりする可能性があります。そのような事態の原因となりうる不確実性やリスク要因は多数あります。その内、現時点において想定し得る主な事項については、最新の決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Reportをはじめとした当社の公表済の各種資料をご参照下さい。